

な試みが行われる。これらの会議や催しをより有効なものとする事によって、日本でも世界全体でも天文学への関心を高める努力を続ける必要がある。今回の会が成功するよう多くの方々のご協力をお願いしたい。なお、関心のある方は国立天文台天文情報普及室あてに資料を御請求下さい。

磯部瑠三 (国立天文台)

コワール第2周期彗星 (1991 f 1) の検出

埼玉県深谷市の石川正夫氏は、1991年12月12日と13日(世界時)に撮影したパトロール写真の原板上に光度14等級の移動する彗星状のイメー

ジを発見し、さらに14日にこれを確認した上で国立天文台に連絡してこられた。

国立天文台ではその像を詳細に調べた結果、彗星状天体として国際天文連合天文電報中央局へ連絡した。国際天文電報中央局のB. G. マースデンと、群馬県的小林隆男氏はこの観測から1979年に発見され第1回目の回帰が未検出で、第2回目、1991年12月28日に近日点を通過する予定のコワール第2周期彗星の回帰であることを確認した。それによると、近日点通過は54日早くなり、周期は6.430年から4.385年になる。

香西洋樹 (国立天文台)

月報だより

第8回小惑星会議のお知らせ

今回は新大阪駅の近くで次のように開かれます。出席を希望される人は、お申し込みください。詳しいことをお知らせします。

日時と会場：第1日目：1992年6月6日(土)
13時から21時まで
大阪ガーデンパレス
(新大阪駅西800メートル)
第2日目：6月7日(日)
10時から14時まで
大阪市立科学館(北区中之島4丁目)
1階研修室

申し込み先：〒651-13 神戸市北区藤原台北町
4丁目18-5 長谷川一郎

締 切：1992年5月15日(金)

関西天文同好会 20周年記念助成研究決定

関西天文同好会では、創立20周年記念事業として優秀なアマチュアの研究に総額20万円の助成金を差し上げるための論文を公募(天文月報1971

年7月号)しておりましたが、去る11月24日に無事記念式典を終了し助成研究が決まりましたので報告させていただきます。当日は、関東から九州にかけて約80名の参加者がありました。応募研究13題の内11題の応募者の発表もありました。

選考の結果、関天20周年記念研究助成金は下記の4研究に差し上げることとなりました。

◎しし座ガンマ流星群及びジャコビニ流星群の流星物質の軌道計算による次回出現予報
長谷川隆氏 60,000円

◎彗星の新しい撮影法
柏木周二氏 60,000円

◎同時観測によるTV流星の軌道
上田昌良・藤原康徳氏 60,000円
(選考委員会で協同研究と判断し複数名の表彰といたしました)

◎太陽黒点ダイレクトアンシャープマスクの試作実験
長 兼弘氏 20,000円

助成研究の選考にあたり多数の先生方のお力添えを頂きました。紙面をお借り致しまして厚く御礼申し上げます。

関西天文同好会 佐竹真彰

「新しい天文教具」展示会とフォーラム

主催 日本天文学会，天文教育普及研究会共催

期間 1992年5月13日～15日

(日本天文学会春季年会会期中)

場所 大阪学院大学

(大阪府吹田市，年会会場)

この催しは天文学会年会において，天文教育普及研究会のこれまでの活動を天文学会員を初めとする各分野の皆様で紹介し，わが国の天文学と天文学教育のあり方を考える場とし，研究者と教育担当者の相互理解を深めることを目指しています。

昨年の秋，水戸市における天文学会ではシンポジウムが開催され好評を得ましたが，今回はテーマを「天文教具」に絞りました。子供達が天文現象の原理や宇宙の構造に興味を増し理解を深める手助けとなる，さまざまな教具が教育現場で作られ使用されています。そして天文学の発展を背景に，新しい教具の開発が要請されています。

展示会は，このような教具の歴史と最近の教具を一望し天文教育のあり方を模索する場とします。

フォーラムは天文学会会員，研究会会員，教育関係者に広く参加を呼掛けます。天文学教育の歴史，現状，将来の有るべき姿などについて討論する場とします。こうした試みが，わが国の天文学の発展の一助となることを希望しています。

[展示会]

期間：5月13日～15日

会場：天文学会ポスターセッション会場

[フォーラム]

日時：5月13日，午後5時30分～7時30分

場所：天文学会会場

[実行委員会事務局]

大阪教育大学天文学研究室

事務局代表：横尾武夫 TEL. 06-771-8131(253)

「宇宙の大規模構造の形成」研究会

1992年度，京都大学基礎物理学研究所短期研究計画として，「宇宙の大規模構造の形成」と題する研究会を開催いたします。本研究会は，銀河形成過程，銀河・銀河団・銀河間物質の分布と特異速度場に注目し，それに関与する物理過程すなわち自己重力不安定性による密度揺らぎの非線型成長やバリオンの熱的進化等の効果の解析と，そのために必要な数値計算法の検討を重点的に行うことを目標としています。参加希望をされる方は，氏名，所属，連絡先，旅費補助希望の有無（他から旅費の補助をもらえる可能性のある方はご遠慮ください）をあらかじめ世話人の郷田までお知らせください。本研究会の旅費は限られていますので，その配分等は世話人に一任させていただきます。講演を希望する方は，講演タイトル，講演内容の簡単なアブストラクトを明記し，参加申込とともに郷田までお送りください。講演者の選定などは，世話人に一任させていただきます。

研究会：宇宙の大規模構造の形成

内容予定：

- (1) 宇宙の大規模構造の観測事実のまとめと将来
光学赤外の銀河観測
X-ray 観測
High redshift objects, QSO
- (2) 理論の問題整理と提起
- (3) 数値計算法の検討
- (4) 大規模構造形成における物理過程の検討
(具体的なモデルに independent な事柄)
膨張宇宙における自己重力系の物理
(密度揺らぎの成長に対する規則性など)
衝撃波の伝播，バリオンの熱的進化による物質分布への影響
- (5) 構造形成モデルの考察
- (6) 総合討論

日 時：1992年7月1日(水)～3日(金)

場 所：京都大学基礎物理学研究所
北白川 小講義室
申込締切：1992年4月20日（必着）
連絡先：〒606-01 京都市左京区北白川追分町
京都大学理学部物理学第2教室天体核
郷田直輝，山下和之
tel 075-753-3850
fax 075-753-3886

日本天文学会研究奨励賞資金への協力のお願い

若手研究者のための標記奨励賞は、1991年度（第3回）として山本 智氏に贈呈致しました。これも会員の皆様から寄せられたご厚意の賜と深く感謝しております。

この奨励賞は、会員の方々からの格別のご理解とご協力によって永く継続し、実りあるものにしていきたいと考えております。会員の方々からのご援助を心から期待しております。個人・団体を問わず、また金額も任意で、いつでも受け付けますが、必ず下記の郵便振替口座にお振り込み下さるようお願いいたします。

振込先：日本天文学会研究奨励賞係

番 号：東京 5-395067

[天文学会の従来の口座(銀行口座、あるいは郵便振替口座、東京6-13595)へ振込まれますと、会費その他の入金との仕分けが不能になることがありますので、充分ご留意下さるようお願い致します。本号に挿入の奨励賞係宛振込用紙は、天文学会事務室にも用意してありますのでご請求下さい。]

会計報告は、通常総会で行います。

会費納入のお願い

4月より会計年度が改まりますので新会計年度会費の納入をお願いします。会費は昨年度（平成3年4月～）から会費が改訂されましたので、納入に際しましてはお間違いのないようお願いいたします。

通常会員会費……年額 6,000円
(改訂前 5,000円)
特別会員会費…… // 16,000円
(改訂前 12,000円)
// (学生会費) … // 12,000円
(改訂前 10,000円)

賛助会員会費…… // 30,000円 (変らず)

◎特別会員の中、学生会費は12,000円ですが納入に際して、大学院生、研究生等、定収入のない学生であることを申告していただきます。申告には、学会事務所にある所定用紙か、郵便振替の通信欄をご利用下さい。いづれも、申告年月日および**学生の身分**を明示した**本人の署名**が必要です。

会費は、今月号に挿入の振替用紙（手数料本会負担）による払込みか現金書留あるいは銀行振込でお納め下さい。

郵便振替口座：東京 6-13595

社団法人日本天文学会

銀行口座：三菱銀行三鷹支店

普通預金口座 4434400

社団法人日本天文学会

計 報

本会特別会員の大林辰蔵氏（宇宙科学研究所・名誉教授）には、調布東山病院において入院加療中のところ、去る2月19日（水）午後11時05分に急性心不全により、逝去されました。享年65歳。

謹んでご冥福をお祈りするとともに会員諸氏にお知らせいたします。